

第 2 次豊橋市環境基本計画

進捗状況

取り組みの目標の進捗状況

環境目標		指 標	基準値A (H21実績)	R2年度 目標値B	H30年度 実績値C	進捗率 (C-A)/(B-A)×100	進捗状況 ※1
I	低炭素社会の 実現により 保全する 地球環境	①エコファミリーの登録件数（累計）〔世帯〕	1,493	15,000	15,382	>100.0%	◎
		②再生可能エネルギー施設の設置量（累計）※2〔kW〕	94,576	210,000	202,143	93.2%	○
		③1日当たりの公共交通利用者数〔千人/日〕	77	79	83	>100.0%	◎
		④電動アシスト自転車普及台数（累計）〔台〕	845	7,500	6,515	85.2%	○

II	多様な生物が 生息し、 人と共生する 自然環境	①自然環境の保全啓発活動への参加者数〔人〕	3,487	3,500	1,242	<0.0%	△
		②外来生物を駆除した池数（累計）〔池〕	6	50	36	68.2%	△
		③森林保育作業の参加者数〔人/年〕	56	120	224	>100.0%	◎
		④干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数※2 〔人/年〕	450	470	467	85.0%	○
		⑤環境保全型農業を実践している農家の割合〔%〕	18.2	36.0	36.8	>100.0%	◎
		⑥市民1人当たりの都市公園面積〔㎡〕	9.77	10.00	10.07	>100.0%	◎

III	資源を大切に し、循環を 基調とする 社会環境	①市民1人が1日に出す家庭系ごみの量 （事業所から出るごみを含まない。）〔g〕	790	709	653	>100.0%	◎
		②再生家具等展示・販売会における入札申込者数※2 〔人/年〕	584	700	477	<0.0%	△
		③リサイクル率〔%〕	17.1	28	26.1	82.6%	○
		④530運動等の参加者数〔人/年〕	180,000	185,000	175,900	<0.0%	△
		⑤雨水貯留槽設置補助件数（累計）〔件〕	376	960	759	65.6%	△

IV	健全で快適な 生活環境	①環境基準達成率（大気）〔%〕	93.3	94.0	94.4	>100.0%	◎
		②工場・事業場立入件数（大気、騒音等）※2〔件/年〕	154	180	146	<0.0%	△
		③環境基準達成率（水質）〔%〕	90.6	96.0	89.6	<0.0%	△
		④工場・事業場立入件数（水質、土壌等）※2〔件/年〕	123	150	122	<0.0%	△
		⑤下水道普及率 （公共下水道、地域下水道合計）〔%〕	78.8	82.3	79.4	17.1%	△
		⑥景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の 件数（累計）〔件〕	192	360	363	>100.0%	◎
		⑦公共施設における緑のカーテン設置箇所数 〔箇所/年〕	28	140	134	94.6%	○

V	環境への意識 と知恵を はぐくむ 文化環境	①地球温暖化対策出前講座の実施回数〔回/年〕	5	25	8	15.0%	△
		②環境イベントの参加者数〔人/年〕	7,272	8,510	9,100	>100.0%	◎
		③地域資源回収実施回数※2〔回/年〕	2,065	2,168	2,401	>100.0%	◎
		④文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 〔人/年〕	61,840	62,000	62,906	>100.0%	◎
		⑤教育文化施設の利用者数〔千人/年〕	1,289	2,193	1,797	56.2%	△

※1 進捗状況：◎…進捗率100%以上 ○…進捗率80%以上100%未満 △…進捗率80%未満（計画期間10年のうち8年が経過したため）

※2 計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値をH26実績としている。また、進捗率についてもH26実績を基準に計算しており、改訂後の計画期間5年のうち3年が経過しているため、進捗状況の判断基準は以下の通りとする。
進捗状況：◎…進捗率100%以上 ○…進捗率60%以上100%未満 △…進捗率60%未満

環境目標 I

低炭素社会の実現により保全する地球環境

基本施策

- I-1. 環境に配慮したエネルギーの利用促進
- I-2. エコモビリティライフの推進

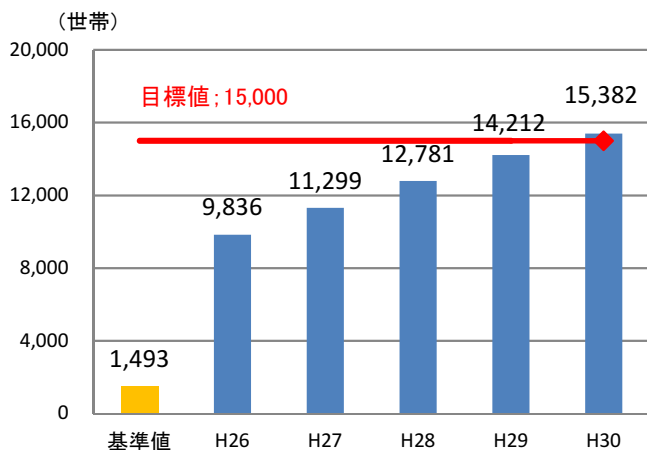
▼目標

地球温暖化対策を進め、二酸化炭素の排出が少ない低炭素社会を実現することにより、恵まれた環境を将来の世代に継承し、地球環境の保全に寄与することを目指します。

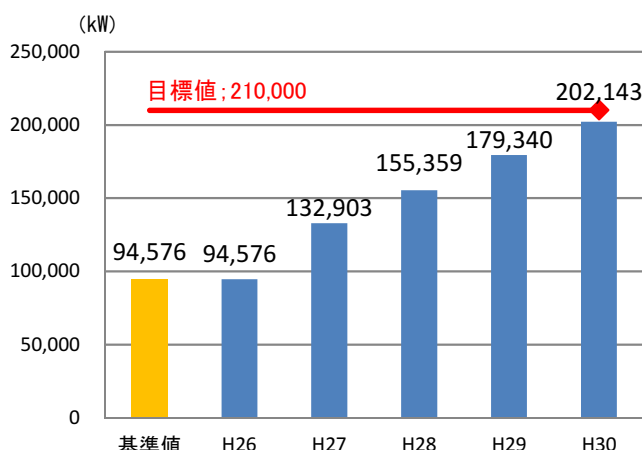
取り組みの目標	基準値	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
エコファミリーの登録件数 (累計) [世帯]	1,493	15,000	9,836	11,299	12,781	14,212	15,382	◎
再生可能エネルギー施設の設置量 (累計) [kW]	94,576 [※]	210,000	94,576	132,903	155,359	179,340	202,143	○
1日当たりの公共交通利用者数 [千人/日]	77	79	79	81	82	83	83	◎
電動アシスト自転車普及台数 (累計) [台]	845	7,500	3,934	4,554	5,199	5,849	6,515	○

※計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値を平成26年度実績としている。

エコファミリー登録件数 (累計)



再生可能エネルギー施設の設置量 (累計)



■環境目標 I の進捗状況

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A: 順調に進捗している B: 概ね順調に進捗している C: あまり進捗していない D: 進捗していない)

A

■今後の取り組み

地球温暖化対策を進めるためには、市自らの率先的な取り組みのほか、市民・事業者と連携しながらそれぞれの役割を果たすとともに、変化する社会情勢に的確に対応していく必要があるため、引き続き次のような取り組みを進めていきます。

- ・ 公共施設及び住宅の省エネ化推進や次世代自動車等の普及促進
- ・ 太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大と支援
- ・ バイオマス利活用センターでのバイオマス資源利活用事業の推進
- ・ 地域の実情にあわせた公共交通の確保及び利用促進
- ・ 自転車利用の環境整備や安全利用の促進等による自転車活用の推進

▼取組状況

I-1. 環境に配慮したエネルギーの利用促進

≪ I-1-1. 省エネルギーの推進 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「エコファミリーの登録件数」は、環境部各課の補助制度などと連携し、エコファミリー世帯への登録を促すことで順調に増加し、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・ 公用車やごみ収集車の更新時に最新の排ガス規制基準達成車を導入したことや、街路灯を水銀灯から LED 街灯に建替えるなど、環境に配慮したライフスタイルが定着したまちづくりに取り組んだ。
- ・ エコファミリーの登録が太陽光補助金等の交付や節電・省エネチャレンジキャンペーン等の参加の条件となっていることから、補助金申請者やキャンペーン参加者の増加に伴い、登録件数も大幅に増加し、市民の環境に対する意識啓発につながった。
- ・ 各住宅メーカー等への普及啓発を継続的に行うことにより、長期優良住宅認定事業については概ね浸透してきている。平成 30 年度は、746 件の認定実績があった。

≪ I-1-2. 再生可能エネルギーの利用促進 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「再生可能エネルギー施設の設置量」は、固定価格買取制度など国の再生可能エネルギー導入促進策もあり、住宅用・事業用ともに太陽光発電の設置が進み、順調に増加している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・ 積極的に省エネ型の LED 照明化を進め、小中学校校舎や競輪場の照明器具など、4,371 箇所の LED 化を実施した。また、住宅用太陽光発電システムや燃料電池システム等設置者に対する補助制度を継続的に実施し、更なる低炭素化を図った。
- ・ 分別収集した生ごみやし尿・浄化槽汚泥、下水汚泥をバイオマス利活用センターでメタン発酵処理し、再生可能エネルギーであるバイオガスを発生させ発電を行った。平成 30 年度の発電量は約 700 万 Kwh であり、計画量を上回った。

I-2. エコモビリティライフの推進

≪ I-2-1. 公共交通の利用促進 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「1 日当たりの公共交通利用者数」は、公共交通全体で利用者が増加したことにより、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・ 幹線バスの終バス延長事業の実施や、モビリティマネジメントや公共交通利用促進イベントの実施、「地域生活」バス・タクシーの運行、「元気バス」購入者への一部助成を行うなど、公共交通の利用促進を図った。

≪ I-2-2. 自転車を利用しやすい環境づくりの推進 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「電動アシスト自転車普及台数」は、補助制度開始（平成 22 年度）から 9 年が経過し、普及に一定の落ち着きが生じているが、積極的な PR により順調に増加している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・ 自転車の利用を促進するため、市民の意識啓発に努めるとともに、自転車通行空間やサイクルピットの整備等を行った。
- ・ 市役所においてエコ通勤を実施し、市職員の通勤における自動車利用の抑制を推進した。
- ・ 過度な自動車利用を抑制するため、電動アシスト自転車の購入者に対する補助制度を継続して実施した。

環境目標Ⅱ

多様な生物が生息し、人と共生する自然環境

基本施策	Ⅱ-1. 生物多様性の保全	Ⅱ-4. 農地の保全
	Ⅱ-2. 森林の保全と利用の促進	Ⅱ-5. 水と緑のネットワークの充実
	Ⅱ-3. 河川・海岸・ため池の保全	

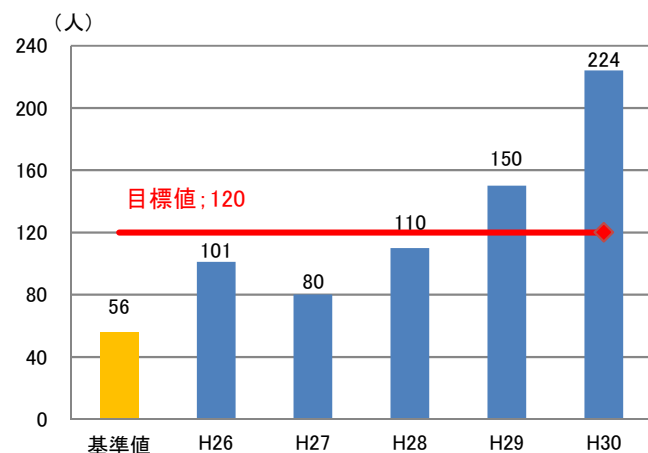
▼目標

私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらすこの自然環境を、かけがいのないものとして将来にわたって保全し、人と自然が共生できる社会を目指します。

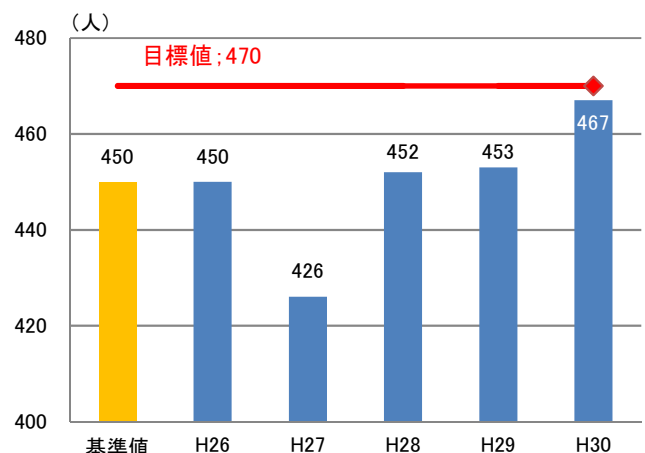
取り組みの目標	基準値	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
自然環境の保全啓発活動への参加者数[人/年]	3,487	3,500	2,309	1,136	1,413	1,393	1,242	△
外来生物を駆除した池数(累計)[池]	6	50	25	30	32	34	36	△
森林保育作業の参加者数[人/年]	56	120	101	80	110	150	224	◎
干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数[人/年]	450*	470	450	426	452	453	467	○
環境保全型農業を実践している農家の割合[%]	18.2	36.0	30.4	30.6	36.0	36.5	36.8	◎
市民1人当たりの都市公園面積[m ²]	9.77	10.00	9.96	10.02	10.03	10.05	10.07	◎

※計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値は平成26年度実績としている。

森林保育作業の参加者数



干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数



■環境目標Ⅱの進捗状況

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A：順調に進捗している B：概ね順調に進捗している C：あまり進捗していない D：進捗していない)

B

■今後の取り組み

市民の生態系の保全に対する意識を高め、自然環境の保全と生物多様性を推進していくには、環境教育、啓発活動及び自然環境保全対策を継続するとともに、自然とのふれあいの場の確保やふれあう機会を提供することが重要であることから、引き続き次のような取り組みを進めていきます。

- ・生物多様性の保全と外来生物対策
- ・継続的な森林整備の実施
- ・市民が気軽に自然とふれあえる水辺環境の保全
- ・耕作放棄地対策と優良農地の確保
- ・自然とのふれあいの場を確保するための取り組みの実施

▼取組状況

II-1. 生物多様性の保全

≪ II-1-1. 自然環境の保全とふれあいの推進 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「自然環境の保全啓発活動への参加者数」は、学校向けの出前講座の参加者数は増加したが、一般向けの出前講座の参加者数が減少したことにより、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・アカウミガメの保護対策の一環で、上陸や産卵状況の実態調査を実施している（H30：上陸 62 回、産卵 34 巣）。
- ・葦毛湿原の回復や生物多様性の確保を目的に、湿原植生分布調査や植生回復実験・追跡調査、侵出植物調査・除去等を実施した。

≪ II-1-2. 特定外来生物対策の推進 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「外来生物を駆除した池数」は、関係機関の協力を得て池干し作業にあわせて外来生物駆除作業を実施しているが、実施池数が伸び悩んだことにより、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・環境学習の一環として、小学生向けに外来生物をテーマにした出前講座を開催するとともに、特定外来生物アルゼンチンアリの駆除作業の実施及び周辺企業への啓発を行った。

II-2. 森林の保全と利用の促進

≪ II-2-1. 森林の保全と育成 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「森林保育作業の参加者数」は、森林ボランティア団体の活動が活性化してきたため、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・市民を対象とした森林間伐作業講座を行い、間伐の必要性について啓発を行うとともに、手入れの行き届かない人工林の除間伐に要する費用を一部補助することで森林の公益的機能の保全を図った。

II-3. 河川・海岸・ため池の保全

≪ II-3-1. 親しまれる水辺づくり ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「干潟保全実践プロジェクト関連イベント参加者数」は、保全実践活動は予定どおり実施できたが、目標をわずかに下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・川と海のクリーン大作戦を実施し、参加した市民 200 人が河川周辺の清掃活動を行い、水辺環境の保全を図った。

II-4. 農地の保全

≪ II-4-1. 農地の保全 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「環境保全型農業を実践している農家の割合」は、エコファーマーとして愛知県知事の認定を受けることにより、農業改良資金（無利子資金）の貸付けに関する特例を受けられることもあり、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・耕作放棄地を借り受け耕作可能な状態に還元する農業者への経費の一部助成やコスモス・菜の花などの景観作物の種の配布、耕作放棄地全体調査の実施及び一斉耕起週間の設定による啓発を行い、耕作放棄地の発生防止及び解消の推進を図った。

II-5. 水と緑のネットワークの充実

≪ II-5-1. 公園・緑地の充実 ≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「市民 1 人当たりの都市公園面積」は、平成 30 年度に東里公園及び向郷公園の供用を開始したことにより、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・こじかこども園や豊橋市立豊小学校において、園児や児童、保護者、地元住民等の協力を得て、園庭や校庭の芝生化を実施した。

環境目標Ⅲ

資源を大切にし、循環を基調とする社会環境

基本施策

Ⅲ-1. ごみ減量の推進

Ⅲ-2. リユース・リサイクルの推進

Ⅲ-3. 環境美化活動の促進

Ⅲ-4. 水資源の節約と有効利用

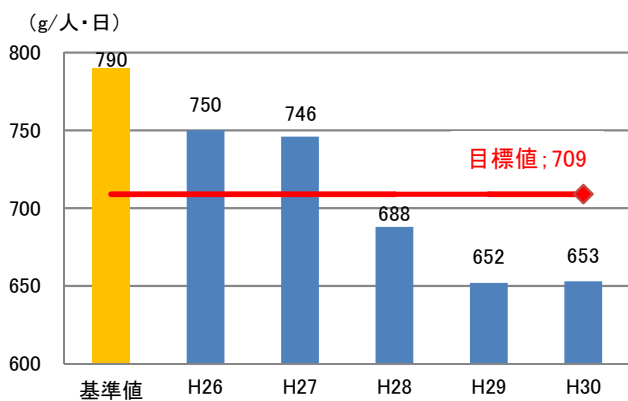
▼目標

廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用及び資源の有効利用を進め、持続的な発展が可能となるよう循環を基調とする社会環境の形成を目指します。

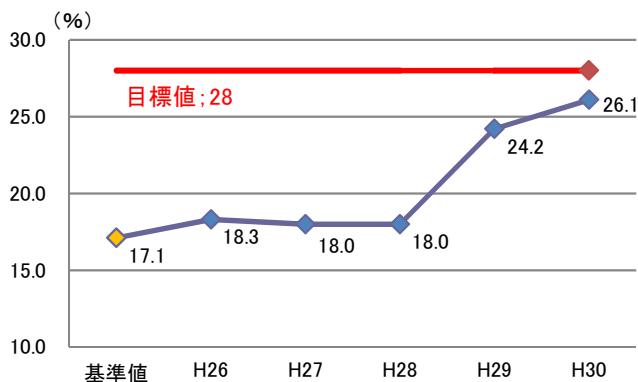
取り組みの目標	基準値	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
市民1人が1日に出す家庭系ごみの量 (事業所から出るごみを含まない) [g]	790	709	750	746	688	652	653	◎
再生家具等展示・販売会における 入札申込者数[人/年]	584*	700	584	495	597	649	477	△
リサイクル率[%]	17.1	28	18.2	18.0	18.0	24.2	26.1	○
530運動等の参加者数[人/年]	180,000	185,000	175,400	201,000	176,500	173,900	175,900	△
雨水貯留槽設置補助件数 (累計) [件]	376	960	665	699	722	747	759	△

※計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値を平成26年度実績としている。

市民1人が1日に出す家庭系ごみの量



リサイクル率



■環境目標Ⅲの進捗状況

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A: 順調に進捗している B: 概ね順調に進捗している C: あまり進捗していない D: 進捗していない)

C

■今後の取り組み

ごみ減量・リサイクルの推進、効率的で環境負荷の低い廃棄物処理を進めるためには、市民・事業者とごみについて問題意識を共有し、連携・協力しながら、効率的・効果的なごみ減量施策に取り組んでいく必要があるため、引き続き次のような取り組みを進めていきます。

- ・ごみ減量・リサイクル施策の更なる推進
- ・資源化センターのごみ処理広域化の推進及び施設の更新
- ・市民・事業者などによる自発的な環境美化活動である530運動の更なる推進
- ・限りある水資源の保全と確保

▼取組状況

Ⅲ-1. ごみ減量の推進

Ⅲ-1-1. ごみ減量の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

「市民1人が1日に出す家庭系ごみの量」は、平成28年4月に導入した指定ごみ袋制度、平成29年4月から開始した生ごみ分別収集、平成30年3月末の資源化センター1号炉の故障によるごみ処理非常事態宣言の発令に伴うごみ減量・リサイクルの啓発により、市民のごみに対する意識が高まったことで順調に減少し、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・広報とよはしやホームページへの掲載、クリーンカレンダー等の配布によりごみ減量と分別排出の周知に取り組んだ。また、ごみ分別について、啓発チラシの全戸配布（年2回）及び組回覧（年3回）を実施するなど、更なる周知啓発に取り組んだ。

Ⅲ-2. リユース・リサイクルの推進

Ⅲ-2-1. リユース（再使用）の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

「再生家具等展示・販売会における入札申込者数」は、通常の市役所での開催に加え、イベントでの展示販売を行い周知に努めたが、出展品目が市民のニーズに合わなかったことや出展数が少なかったことにより、申込者数は減少し、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・ごみ減量や省資源・省エネルギー、リユース・リサイクルなど、環境の保全に関する各種イベントを開催し、市民に様々な情報を提供するとともに、民間団体や市民グループの活動を促進し、市民意識の高揚を図った。

Ⅲ-2-2. リサイクル（再生利用）の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

「リサイクル率」は、生ごみの分別収集を開始したことにより、リサイクル率は大きく上昇したが、一方で全国的な古紙流通量の減少や民間古紙業者への持ち出しが大幅に増加したことにより、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・バイオマス活用センターの供用開始により、生ごみや下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥を資源として有効活用した。
- ・剪定枝チップのリサイクルを市民に向けてPRするため、環境フェスタなどのイベントで配布を行った。また、街路樹などの剪定枝をチップ化し、公園の園路のクッション材などとして活用した。

Ⅲ-3. 環境美化活動の促進

Ⅲ-3-1. 530運動の推進

【取り組みの目標の進捗状況】

「530運動等の参加者数」は、雑がみ回収啓発を環境イベントと併せて行ったことによる参加者増や、三遠ネオフェニックスとの連携等により、クリーンアップ大作戦への参加者数が増加したが、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・春・秋の530運動の実践や幼児環境教育、クリーンアップ大作戦の実施、MANGAコンテストの開催など、530運動の普及を図った。
- ・ポイ捨て防止の推進を図るため、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキにデジタルサイネージを設置し、映像及び音声を用いた動画による啓発活動を実施した。

Ⅲ-4. 水資源の節約と有効利用

Ⅲ-4-1. 水資源の節約と有効利用

【取り組みの目標の進捗状況】

「雨水貯留槽設置補助件数」は、市民への継続した啓発等により、一定の認知がなされたこと、緊急時における水確保の重要性への関心が高まっていることから増加傾向にあるが、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・総合動植物公園において、園内の処理水を水洗便所や獣舎の洗浄水、植物のかん水として再利用した。
- ・市民に対し節水について啓発するため、小学4年生対象のまちづくり出前講座の際に節水についても説明をした。

環境目標Ⅳ

健全で快適な生活環境

基本施策	IV-1. 大気環境の保全及び騒音・振動・悪臭の防止	IV-4. ヒートアイランド対策の推進
	IV-2. 水環境及び土壌・地盤環境の保全	
	IV-3. ゆとりある生活空間の創出	

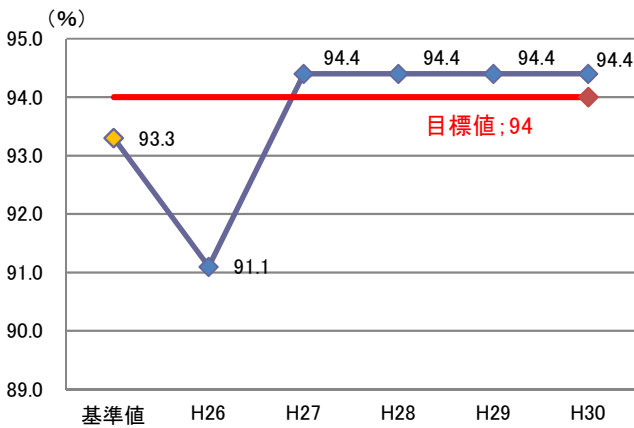
▼目標

大気汚染や騒音・振動、水質汚濁、有害化学物質による汚染などに対する監視や防止対策を進め、私たちの生活環境を保全するとともに、健全で快適なゆとりある生活空間を創出することを目指します。

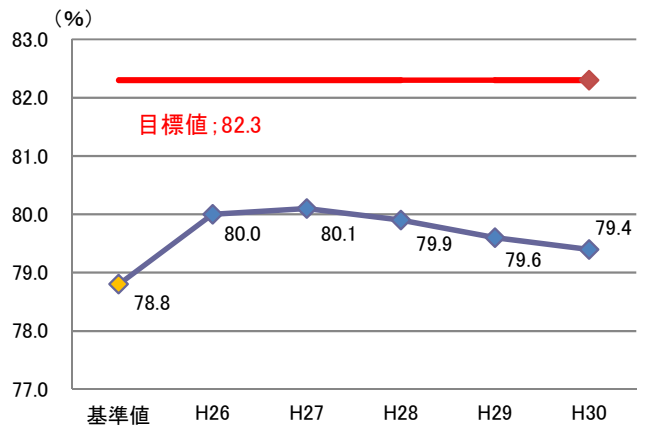
取り組みの目標	基準値	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
環境基準達成率 (大気) [%]	93.3	94.0	91.1	94.4	94.4	94.4	94.4	◎
工場・事業場立入件数 (大気、騒音等) [件/年]	154*	180	154	174	195	270	146	△
環境基準達成率 (水質) [%]	90.6	96.0	89.6	89.6	89.6	89.6	89.6	△
工場・事業場立入件数 (水質、土壌等) [件/年]	123*	150	123	177	269	219	122	△
下水道普及率 (公共下水道、地域下水道合計) [%]	78.8	82.3	80.0	80.1	79.9	79.6	79.4	△
景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の件数(累計) [件]	192	360	283	292	312	333	363	◎
公共施設における緑のカーテン設置箇所数[箇所/年]	28	140	132	128	128	131	134	○

※計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値を平成26年度実績としている。

環境基準達成率 (大気)



下水道普及率 (公共下水道、地域下水道合計)



■環境目標Ⅳの進捗状況

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A : 順調に進捗している B : 概ね順調に進捗している C : あまり進捗していない D : 進捗していない)

C

■今後の取り組み

健全で快適なゆとりある生活空間を創出するためには、大気環境・水環境等の保全を進めるとともに、周辺環境と調和した良好な景観形成を推進する必要があるため、引き続き次のような取り組みを進めていきます。

- ・ダイオキシン類の発生抑制や有害化学物質の使用抑制・適正管理
- ・河川や海域、地下水などの継続的な水質調査
- ・景観形成地区における景観整備事業の推進
- ・街路樹再生の推進、公共施設の屋上緑化・壁面緑化などの都市緑化の推進

▼取組状況

IV-1. 大気環境の保全及び騒音・振動・悪臭の防止

≪IV-1-1. 環境監視体制の充実（大気、騒音等）≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「環境基準達成率（大気）」は、全地点のオキシダントが環境基準を超過しているが、その他の項目では継続して環境基準を達成している。また平成24年度より測定を開始したPM2.5も全ての測定局で環境基準を達成しており、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

・微小粒子状物質（PM2.5）常時監視調査や有害大気汚染物質調査、ダイオキシン類環境調査、環境騒音調査等を行った。

≪IV-1-2. 発生源対策・啓発の推進（大気、騒音等）≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「工場・事業場立入件数（大気、騒音等）」は、大気関連施設で長期間変更等の届出がない施設について調査を実施していたが、調査が一段落し、併せてアスベスト除去工事の立ち入りも大幅に減少したことにより、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

・エコドライブの普及のため、エコドライブ講習会を開催した。
・飲食店等の深夜営業騒音の防止のため、新規出店者に対する騒音規制等の説明を実施した。

IV-2. 水環境及び土壌・地盤環境の保全

≪IV-2-1. 環境監視体制の充実（水質等）≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「環境基準達成率（水質）」は、平成24年度に地下水の測定地点を業務の見直しにより2地点減らしたが、環境基準を達成した地点数に変化はなく、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

・公共用水域及び地下水の水質監視調査や、地下水等における有害化学物質の調査、ダイオキシン類環境調査等を行った。工場・事業場へ立ち入り、水質・土壌の監視・指導を行うなど、生活環境の保全に努めた。

≪IV-2-2. 発生源対策・啓発の推進（水質、土壌等）≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「工場・事業場立入件数（水質、土壌等）」は、田原市で発生した豚コレラの影響から、養豚場に対する立ち入りを自粛したことにより、立入件数が減少し、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

・工場・事業場へ立ち入り、水質・土壌の監視・指導を行うなど、生活環境の保全に努めた。

≪IV-2-3. 生活排水処理の充実≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「下水道普及率（公共下水道、地域下水道合計）」は、前芝地区、橋良地区、吉田方地区の整備を進めてきたが、処理区域からの人口流出により普及率が低下し、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

・公共下水道第9次拡張事業計画及び公共下水道第1次再整備事業計画に基づき下水道整備事業を進めるとともに、下水道未整備地域において、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換者に対して設置費の一部を助成するなど、生活排水処理の充実を図った。

IV-3. ゆとりある生活空間の創出

≪IV-3-1. うるおいのある美しい都市空間の形成≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「景観形成地区の景観に配慮された建築工事等の件数」は、二川宿や豊橋駅周辺の景観形成地区で建築工事が進んだことから、順調に増加し、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

・新たに2地区（曙町松並、三弥工業団地）で緑化率等の規制がある地区計画を策定し、また、西口住宅1号棟建設において、建物周囲の駐車場内に植栽を配置するなど、ゆとりある生活空間の形成を図った。

IV-4. ヒートアイランド対策の推進

≪IV-4-1. ヒートアイランド対策の推進≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「公共施設における緑のカーテン設置箇所数」は、市の施設へ幅広く呼び掛け、普及を拡大したため、順調に増加している。

【具体的な取り組みの実施状況】

・市役所本庁舎にて屋上緑化を実施した。また、全市立学校（小学校、中学校等）で緑のカーテンを設置し、夏季の空調稼働や教室内の温度上昇を抑えるとともに、二酸化炭素の削減など地球温暖化についての理解を深めることができた。

環境目標 V

環境への意識と知恵をはぐくむ文化環境

基本施策

- V-1. 環境に関する教育啓発の推進
- V-2. 環境保全活動の推進
- V-3. 文化の継承と活用

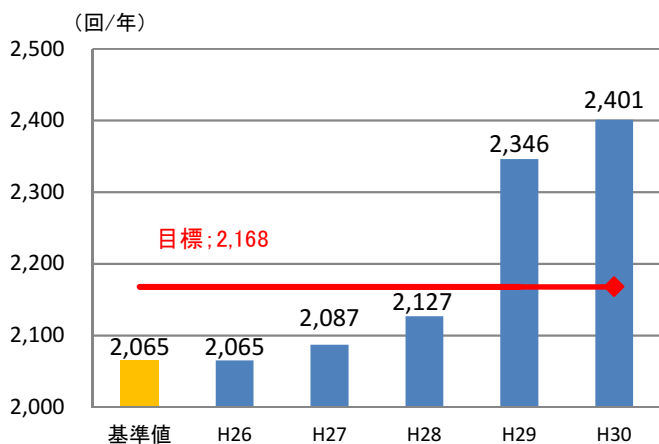
▼目標

環境保全に関する教育や啓発を進めることで、私たち一人ひとりの環境に対する意識を高めるとともに、市民活動などを通じて地域の文化を守り、継承し、自然や将来世代を思いやる知恵をはぐくむ文化環境の形成を目指します。

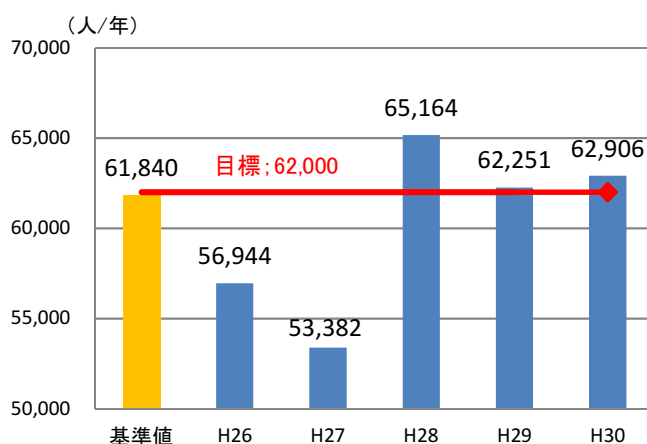
取り組みの目標	基準値	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
地球温暖化対策出前講座の実施回数 [回/年]	5	25	17	15	12	19	8	△
環境イベントの参加者数 [人/年]	7,272	8,510	7,402	9,300	8,900	5,182	9,100	◎
地域資源回収実施回数 [回/年]	2,065*	2,168	2,065	2,087	2,127	2,346	2,401	◎
文化財関連イベント・展覧会等の参加者数 [人/年]	61,840	62,000	56,944	53,382	65,164	62,251	62,906	◎
教育文化施設の利用者数 [千人/年]	1,289	2,193	1,402	1,894	2,014	1,959	1,797	△

※計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値を平成26年度実績としている。

地域資源回収実施回数



文化財関連イベント・展覧会等の参加者数



■環境目標 V の進捗状況

取り組みの目標の達成状況や具体的な取り組みの実施状況等から総合的に判断して評価

(A : 順調に進捗している B : 概ね順調に進捗している C : あまり進捗していない D : 進捗していない)

B

■今後の取り組み

身近にある自然や文化を守り、継承する心を醸成するためには、環境保全に関する教育や啓発を進めるとともに、文化財の調査と保存、活用を進めていく必要があるため、引き続き次のような取り組みを進めていきます。

- ・あらゆる世代の人に環境について学んでもらえるような環境学習の展開
- ・より多くの市民が環境保全活動に参加できる環境づくりの推進
- ・歴史的遺産や伝統文化等に触れられる機会の提供
- ・郷土への誇りや愛着を育てる郷土学習の推進

▼取組状況

V-1. 環境に関する教育啓発の推進

≪V-1-1. 環境教育の推進≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「地球温暖化対策出前講座の実施回数」は、学校からの申込等により出前講座を開催するとともに、市民等への積極的な啓発を行っているが、実施回数は伸び悩み、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・学校や地域における環境学習への取り組みの支援のため、市職員等を派遣し、環境教育の推進を図った。
- ・ごみ処理や環境問題に興味・関心を持ってもらうため、資源化センターやプラスチックリサイクルセンターでの見学会の内容を充実させ、また、バイオマス活用センターの見学会も実施した。

≪V-1-2. 環境保全の意識啓発≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「環境イベントの参加者数」は、530広報大使やSNSを活用した情報発信などにより530運動のPRを強化し、また、雑がみ回収啓発を環境フェスタ等と併せて実施したことで参加者数が増加し、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・市内小中学校25校が「母なる豊川」活動に組み込み、水生生物調査や水質調査、ホタルなどの希少生物の保護、530運動などを行い、地域の川を大切にしようとする意識の高揚を図った。
- ・環境ポスター・書道コンクールや下水道ポスターコンクールの開催、エコキッズサーキットの開催、エコカーレースの開催の支援、身近な生き物や自然をテーマにした出前講座の開催などを通じて、環境への意識の高揚を図った。

V-2. 環境保全活動の推進

≪V-2-1. 市民・事業者との協働≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「地域資源回収実施回数」は、ごみステーションを活用した回収の推進や地域資源回収の活性化を図るため、地元への説明会や雑がみ回収ボックスの貸し出しを進めたことにより、登録団体数が増加し、積極的に地域資源回収を実施する団体が増えたため、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・市民活動団体の相互交流や情報交換、市民に対する情報提供ができる環境づくりを進めるとともに、市民活動推進補助金の交付等によりその活動を支援した。

V-3. 文化の継承と活用

≪V-3-1. 文化財保護活動の推進≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「文化財関連イベント・展覧会等の参加者数」は、吉田城址など、発掘調査現地説明会の開催数増により、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・文化財指定に伴う調査や指定文化財の保護対策、修理のための調査を行った。
- ・豊橋素人歌舞伎保存会や吉田文楽保存会に対して補助金を助成し、伝統芸能の保存や後継者の育成をするとともに、市指定の無形民俗文化財の保存、振興に努めた。

≪V-3-2. 教育文化施設の充実≫

【取り組みの目標の進捗状況】

「教育文化施設の利用者数」は、台風・猛暑による影響、図書館イベント参加人数の減、美術博物館建物補強工事のための休館日増、商家「駒屋」開館当初からのマスコミ効果の減少・新規来館者の減少などにより、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・動植物公園では、ゾウ放飼場の拡充を図るとともに、キリンデッキの整備を行った。また、夜間開園イベントの充実を図るなど、より一層魅力を高めることができた。